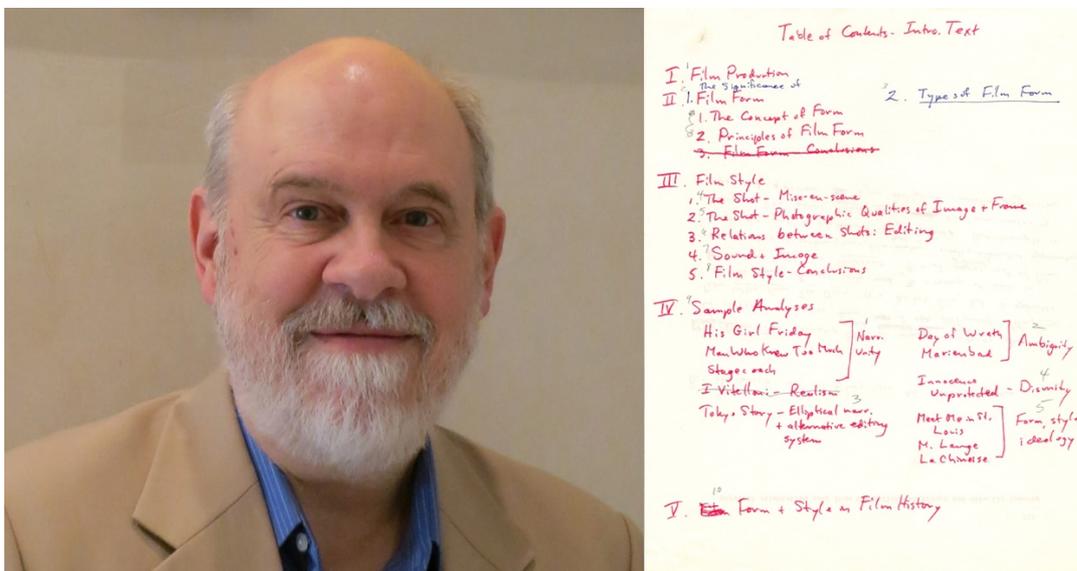


映画理論・映画テキスト研究会



【研究プロジェクトの概要】

- 本研究プロジェクトの目的は、映画理論と作品分析の方法論に対する理解を深めることである。本研究プロジェクトはこの目的を実現するために、新旧の映画理論を精読し、その学びを軸にして、改めて具体的な映画作品を鑑賞しようとする。

ここでいう新旧の映画理論とは、次のような三つに分けることができる。第一に今年惜しくも亡くなった北米を代表する映画研究者デビッド・ボードウェルの著作群を講読する。ここでは主に映画と物語の関係を探ることになるだろう。第二にジル・ドゥルーズの『シネマ』1 & 2を講読する。ここでは、映画研究と哲学の橋渡しを探ることになるだろう。最後に日本の映画研究を牽引する蓮實重彦と木下千花の著作を講読する。ここでは日本の研究者と批評家が、欧米の理論や哲学をいかに自身の研究方法や理論に取り込んでいったかを探求することになるだろう。このように習得した理論的・批評的道具を携えて、我々は改めて映画テキストに向き合う。

【参加メンバー】

西川秀伸（映画研究）、宮内沙也佳（文化研究）、立川宗一郎（文学研究）

【お問い合わせ先】

代表 西川秀伸 lt096080@ed.ritsumei.ac.jp

左写真：デビッド・ボードウェル <https://www.davidbordwell.net/blog/2024/06/09/a-recording-of-davids-memorial-service-is-now-online/>より引用

右写真：クリスティン・トンプソンによる第一版 *film art* の章立てに関するアウトライン

<https://www.davidbordwell.net/blog/2016/02/02/film-art-the-eleventh-edition-arrives/>より引用